

令和 7 年 度
広島 か き 生 産 出 荷 指 針



広島 県

は じ め に

令和6年度の広島かきの生産は、近年は天然採苗が順調で、種苗の確保が安定していることから、生産目標の年間2万トンに回復することが見込まれる中で始まりました。

しかしながら、夏場の高水温によるへい死の多さや、かき殻の排出量抑制等によりむき身出荷開始時期が遅れたため、生鮮向けの出荷が中心となる漁期前半の生産量は低調となりました。一方、加工向けの出荷が中心となる漁期後半の生産量は、冷え込み以降にかきの身入りが好転したため平年を上回ったものの、漁期を通じた生産量は目標を下回る結果となりました。

生産額については、需用が供給を上回る状況が続いたため、漁期を通じて単価が高値で推移し、3年連続で200億円を超える結果となりました。

また、持続的なかき生産の課題となっているかき殻の堆積超過への対策については、漁場環境データに基づいたへい死防止対策の実施によるかき殻の発生抑制や、増殖場造成及び漁場の底質改善への活用促進、かき殻材のコスト縮減や新たな製品・用途の開発に関する取組への支援等によって、堆積量の削減に向けて取り組んでいるところです。

さらに、海洋プラスチックごみが世界規模の課題となっていることから、本県においても、かき養殖由来のごみの流出防止対策に継続して取り組んでおり、その結果、県内海岸漂着物におけるかき養殖用資材の重量が低位で推移するなど、対策の効果が表れています。県としても、引き続き流出防止対策に努めるとともに、民間企業と共同で開発を進めている海洋生分解性プラスチックを用いた養殖用資材の実用化や、持続可能な漁業・養殖業由来の水産物であることを示す水産エコラベルの取得など、環境に配慮した持続的なかき養殖の推進に取り組んでまいります。

加えて、将来的に生鮮向けむき身かきの国内需要の減少が予想されることや、農林水産省が選定する輸出重点品目に「牡蠣・牡蠣加工品」が加えられたことを踏まえて、県としても、輸出に対応した生産海域の指定等の輸出関連事務を進めることで、引き続き広島かきの輸出拡大を推進し、これらの取組によって、日本一の生産量を誇る広島かきの持続的な生産につなげてまいります。

最後に、本年も生産、流通、加工及び市場関係者の皆様の御協力を得て、広島かきの生産、出荷及び価格の動向や、出荷に際しての方針を取りまとめることができました。調査に御協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、高品質で安全安心なおいしい「広島かき」を引き続き多くの方々に食べていただきますよう願っております。

令和7年9月

広島県農林水産局長 向 井 雅 史

目 次

I	令和7年度 生産出荷対策	1
1	重点推進項目	1
2	生産出荷指導方針	1
3	衛生面における令和7年度「広島かき」重点指導方針	4
II	令和6年度 広島かき生産出荷状況	6
1	生産量	6
2	生産額	8
III	統計・参考資料	9
1	かき生産量の推移	10
(1)	国別生産量	10
(2)	県別生産量	10
2	広島かきの生産出荷状況	11
(1)	年度別生産量等	11
(2)	年度別主要市場別出荷量	11
(3)	月別主要市場別出荷量（令和6年度）	12
(4)	月別加工向け出荷量（令和6年度）	13
(5)	年度別加工品生産量	13
3	国別輸出量（全国）	14
4	国別輸入量（全国）	14
5	年次別生かき購入金額（全国・1世帯当たり）	15
6	都道府県庁所在市別かき購入数量及び支出金額（1世帯当たり）	15
7	かき養殖における主な被害発生状況等	16
8	（参考資料1）広島かきの処理概略図	17
9	（参考資料2）水産エコラベル	18
10	（参考資料3）養殖業における漁業系廃棄物の種類（例）	19
11	（参考資料4）養殖資材流出防止対策	19